

交換留学帰国報告書

記入 | 2025 年 3 月
所属 & 学年 | 工学部
卒業予定 | 2027 年 3 月

留学先大学	シドニー大学
留学先国	オーストラリア
留学期間	約 10 ヶ月 (3 年次に留学)
留学開始 - 終了	2024 年 2 月 19 日 - 2024 年 11 月 23 日

A. 留学に至った経緯や留学準備について

①留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

交換留学を選んだ理由

- ・学費を名古屋大学に納めることで海外の大学に直接納めなくてよい。
→自分で留学する場合の金額に比べるとかなり**安く留学**できます。
- ・一年という比較的**長い期間**の留学を選択できる。(半年も選択できる。)
- ・**奨学金**が充実している。
→名古屋大学の海外留学室で案内してもらえます。

オーストラリアを選んだ主な理由

- ・**レベルの高い大学**が協定校になっている。
→アメリカなどと比べても国の中でトップの大学が協定校になっています。(それだけその国で優秀な学生が集まっています。)
 - ・留学大国として有名で世界中から**留学生**が集まっている。
→実際に正規留学生としても世界の様々な地域から留学生が来ています。
 - ・**英語**が話されており、生活しやすい。
→オーストラリア英語という少し独特な英語を勉強するのも面白いです。
 - ・(地域にも依るが) **治安**が比較的良い。
→真夜中に一人で街を歩いても危険だと感じたことはないです。差別も受けたことがありません。
- シドニーは気候が大変良く、何でも手に入る大きな街とビーチなどの自然のどちらもあっておすすめです。**

大学を選んだ経緯

機械・航空宇宙工学科に所属しているので、その**学科に関連した授業**が履修できる大学を選びました。シドニーではシドニー大学 (USYD) の他にニューサウスウェールズ大学 (UNSW) が工学で有名ですが、学生の**雰囲気**や CBD から大学への**アクセス**を考慮してシドニー大学を選択しました。

②留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

高校 1 年生の時に高校のプログラムで短期留学に行ってから、海外で勉強することに興味がありました。大学に入学してから交換留学について詳しく知りました。単位互換でき

るか、奨学金が本当にもらえるかなど申し込み前には不確実なこともありましたが、そこは思い切って申し込みました。思い切りが留学前も留学中も大事だった気がします。

③留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的&期間など
アデレード, オーストラリア	高校 1 年	市の短期留学プログラム
大連, 中国	大学 2 年	大学の短期留学プログラム

④実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのぐらい前でしたか？

入学時から興味はありましたが、特に具体的な準備はしていませんでした。1 年の後半から何度か海外留学室で岩城先生と相談した後、2 年の 4 月に IELTS を受験し基準を満たしたので交換留学への応募を決めました。

⑤海外留学室での相談内容、参考になったことなどを教えてください。

留学先をどのように選択すれば良いのか、名古屋大学での選考にどのように対策すれば良いのかなどを相談しました。また、奨学金もいくつか案内してもらいました。

B. 留学前の語学対策や単位などについて

①留学前の語学対策、TOEFL などの受験回数などについて教えてください。

名古屋大学の工学部の学生向けの IELTS 講座 (3000 円くらいの講座だったと思います) を受けた後、IELTS を 1 回受験しました。留学直前にも少し勉強しましたが、専門用語などは渡航後に必要なものを少しずつ覚えていけば良いと思います。

②単位取得、単位互換、教職履修などに関するアドバイスをお願いします。

単位取得に関して

シラバスで単位取得の基準を理解することが必要です。科目にも依りますが、課題などをしっかりと提出すれば単位の取得はそれほど難しくないと思います。

単位互換経験談

単位互換は所属学部 (学科) の事務室と連絡を取って行います。確実に単位互換をしたのであれば、留学前からメールで連絡を取り、どのような基準や手続きで行われるのかを確認する必要があります。

以下は工学部にしか当てはまらない話になりますが、私の場合の単位互換の経験談です。

私は、単位互換にフォーカスして取りたい授業が取れなかったり、時間的に余裕がなくなったりするのがもったいなく思ったので、1 年遅れるのは仕方ないという考えで留学しました。したがって、留学前は事務室に連絡を取っていませんでした。ただ、留学先での履修が決定した際に専門に関連したものが多かったため、少しでも単位互換できればよいという期待から 1 学期目が終わる頃に連絡しました。今では、もっと早く連絡していれば得をしたのではと少し後悔しています。

単位互換はシラバスや成績、授業資料、課題などで審議されます。かなりシビアに関連性を審査されるので、自分で単位互換されるかを判断するのは難しいと思います。また、シドニー大学と名古屋大学では 1 科目の重さ (内容の量) が異なるので、2 科目で 1 科目の単位認定がされたり、その逆があったりと少し複雑です。そのため、早めに事務室に連

絡しておく、履修前に関連性の部分を確認してもらえてよいと思います。ちなみに、留学中の成績に関係なく、単位認定後は T という評定になります。

機械・航空宇宙工学科に限った話になりますが、3 年の機航実験の単位を認定してもらうのは難しいと思います。シドニー大学の授業でも実験はしますが、名古屋大学の授業内で取り扱う実験と同じ内容を扱っていないと認定されないようです。

取り敢えず、留学前と留学中にやっておくといことは：

- 事務室に連絡する（留学前）、
- 履修した科目の資料を保存する（留学中）、
- 必要に応じて手続きの期限などを確認する（留学中）。

私が単位認定された科目です。

- 航空宇宙機力学第 1
- ポテンシャル流れ
- 航空宇宙機構造工学
- 有限要素法

C. 授業や勉強について

- ①留学先で履修した科目と科目コード（例：MKG 2022 Introduction to Marketing）、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えて下さい。

授業の履修は専用のシステムから行います。それぞれの授業が被らないように自分で時間割を決める必要があるので、案内があったらすぐに対応すると良いと思います。履修は留学先の担当者に助けてもらえます。

基本的に工学に関する授業を履修しました。一学期目は名古屋大学で履修済みの科目に近い科目も履修しましたが、二学期目は全く初めて学習する科目を履修しました。二学期目は内容が難しかったのもあり、課題に追われていました。シラバスは大学のホームページから確認できるので、課題量などを予め確認してから履修登録すると良いと思います。

Semester 1

AMME2000 Engineering Analysis

これは数値解析の授業です。主に微分方程式と Finite Difference Method について学びました。MATLAB の知識が求められました。

AMME2261 Fluid Mechanics 1

これは流体力学の授業です。

AMME2500 Engineering Dynamics

これは力学の授業です。

EDUH4052 Learning in Outdoor Education

履修の希望調査で提出した科目の中で実際に履修できるのが 3 つしかなく、この科目は自動的に履修登録されました。これはハイキングなどを通して自然について学ぶ科目です。

Semester 2

AERO2460 Aerospace Design 1

これは基本的には材料力学の授業です。1 学期に 4 つしか科目を履修しないのもあり、名古屋大学の材料力学の授業よりも扱う範囲が広がったです。

AERO2703 Aircraft Performance and Operations

これは航空工学の授業です。

AMME3060 Engineering Methods

これは数値解析の授業です。一学期に履修した AMME2000 の上のレベルの授業で、Finite Element Method, Finite Difference Method, ANSYS を学びました。MATLAB の知識が求められました。

AERO3260/8260/9260 Aerodynamics 1

これは航空力学の授業です。理論を学びました。

- ②授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫を教えてください。

MATLAB や LATEX など名古屋大学では学習していなくてもシドニー大学では既習の内容があるので、それらの学習は授業と並行して自分で進める必要がありました。

- ③学習面で困ったことはありましたか。どのように解決しましたか。

基本的に課題が多く、幾つか時期が重なったときに時間が足りなくて苦労しました。グループアサインメント（何人かのグループで課題に取り組み、レポートや発表を行うもの）がほとんどの科目で課されるのですが、初めは学部で知り合いが一人もおらず、パートナーを見つけるのに苦労しました。Ed という学生間で連絡が取れるシステムなどを利用しました。

D. 大学生活について教えてください。

- ①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

シドニー大学はシドニーの中心部から非常に近く、アクセスがすごく良いです。寮も付近にいくつもあり、それらからのアクセスもよいです。
キャンパス内は古い建物も多く、綺麗です。
交換留学生だけでなく、フルタイムの留学生も非常に多いです。
工学部では、課題などに熱心に取り組む学生が多い印象を受けました。

- ②ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

大学の構内と寮に Wi-fi があります。
大学にはジム・プールなどがありますが、有料です。（寮のジムは無料です）
いくつかある寮の中で Queen Mary Building という寮に住んでいました。12 階建てで、約 1000 人の人が住んでいました。シェアルームもありますが、ほとんどの部屋は 1 人用の個室で、椅子・机・ベッド・棚・冷蔵庫などがありました。トイレ・シャワー・キッチン・ランドリーは共用でした。地下にはジムや卓球台・ビリヤード台などもありました。

- ③留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか。

寮で知り合いが何人かできました。また、Tutorial やグループアサインメントでは同じ学部の学生と仲良くなりました。

日本人の友だちでは日本のサークルに入っている人も多かったです。そこで日本語学習者向けに Tutor をやっている人もいました。Welcome Week に様々なイベントをやっているの、そこで見てみると良いと思います。

④余暇の過ごし方（授業後や長期休暇など）について教えてください。

授業後は課題に取り組んだり、友人と過ごしたりしていました。外食もしていました。シドニー大学は CBD や Newtown と近いので、遊ぶ場所には困らないです。Circular Quay からフェリーに乗るのもおすすめです。日本食が食べなくなったり、日本のものが欲しくなったりした時は Regent Place に行くと色々手に入ります。

寮では定期的にイベントが開催されていて、クルーズパーティーやルナパーク（遊園地）のチケットが無料でもらえました。

長期休暇には旅行に行きました。オーストラリアの田舎の方はシドニーなどの街とは全く異なる雰囲気があるのでおすすめです。自然もすごく綺麗です。田舎の方だと安い宿もたくさんあるので、程よく節約しながら旅行ができたと思います。

E. 健康管理、保険、予防接種など

①健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか。

シドニーでは水道水を飲んでも全く問題なかったです。

寮に入る際に新型コロナウイルスの予防接種の接種証明書を確認されましたが、それ以外の場所で必要になったことはありませんでした。

②留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えてください。

病院には行かなかったです。

③留学するにあたって、予防接種は必要でしたか。

☒ はい（種類：新型コロナウイルス（寮に入るために必要だった））

☐ いいえ

F. 住居、食事、マナーなどについて

①留学中の滞在先について教えてください。

形態	☒ 寮 ☐ 下宿 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
何人部屋	（ 1 ）人

②生活（住居、食生活、服装など）や習慣の違い（マナー、対人関係）、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

外食は高額（日本の 2 倍から 3 倍）でした。自炊すればそれほど食費はかからないと思います。

シドニーの街は非常に安全で、治安の悪いと言われる地域に行かないなど基本的な対策さえしていれば、安全面については特に気をつける必要はありませんでした。

CBD 付近では遅くまで空いている店もありますが、午後 5 時くらいに閉まる店も多いので出かける時は時間を確認する必要がありました。

③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてもよかったと思うものは何でしょうか。

基本的に必要なものは全て手に入ります。

到着したら、まず Kmart に行って、日常で必要なものを揃えると良いと思います。大学

の近くの Broadway に Kmart があります。
Daiso では（日本の Daiso より高いですが）日本のものが手に入ります。

④参考となる留学先国の情報（出版物、web サイト）を教えてください。

交換留学が決まると、留学先の大学から必要な情報がたくさんメールで送られて来るのでそれをチェックすれば良いと思います。そこで参考になる外部のサイトも教えてもらえました。

G. 留学費用について

①留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

特にシドニーは生活費が高いです。思わぬところで出費がかさむので、留学の費用は多めに見積もることが大切だと思います。

特に住居費が高いです。シドニー大学付近だと比較的安価な学生向けのところで月 15 万円前後が一般的だと思います。住居費はなんともできませんが、普段の食費は自炊することで、日本と同じくらいの水準まで節約できます。寮に住むと他の人と一緒に料理をする機会もあります。

②奨学金は受給していましたか。

☒ はい

奨学金名：（公財）業務スーパージャパンドリーム財団 2023 年度派遣留学奨学生

支給額：160 万円、

奨学金名：名古屋大学海外留学奨励制度（交換留学） 支給額：20 万円

☐ いいえ

③差し支えない範囲で留学費用を教えてください。*内容の費目は自由に変えてください。

内容	金額	備考
渡航費	20 万円	名古屋大学の奨学金で払いました
保険代	10 万円	
ビザ代	7 万円	今はこの倍くらいに引き上げられたそうです
住居費	200 万円	
食費	5 万円/月	
教科書代	0 円	特に必要なかったです

その他、旅行に行く場合は旅行費用がかかります。

H. 今後の進路や目標、就職活動について

①卒業後の進路（進学、就職、その他）について教えてください。

☒ 進学

☐ 就職

☐ その他（ ）

②今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対しての考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

今後は大学院に進学したいと考えています。

- ③留学中に就職活動を行った方は、具体的なエントリー、一時帰国の時期、感想などを教えてください。海外留学生用の就職活動を受けた場合はそれに関する情報をお願いします。

私は就職活動を行いませんでしたが、日本人の友だちで行っている人は多かったです。日本での就活をオンラインでするだけでなく、シドニーでは日本人学生向けの説明会などもあるので、それらに参加している人もいました。私が見た企業では対面での面接から採用までは全てシドニーで行っていました。日本でのその企業への就職活動よりも簡略化されていたようです。

I. 留学を終えて感じること

- ①留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

留学した1年は今までで1番楽しく充実していました。
同じ工学部でもオーストラリアでは勉強のスタイルが全く異なることや、オーストラリア社会の独特さ、旅行で見た景色などが印象に残っています。これらは日本で聞いたこともありましたが、実際に体験してこそ理解できて価値があったと思います。

- ②留学したことで、何がどのように変わったと思いますか。

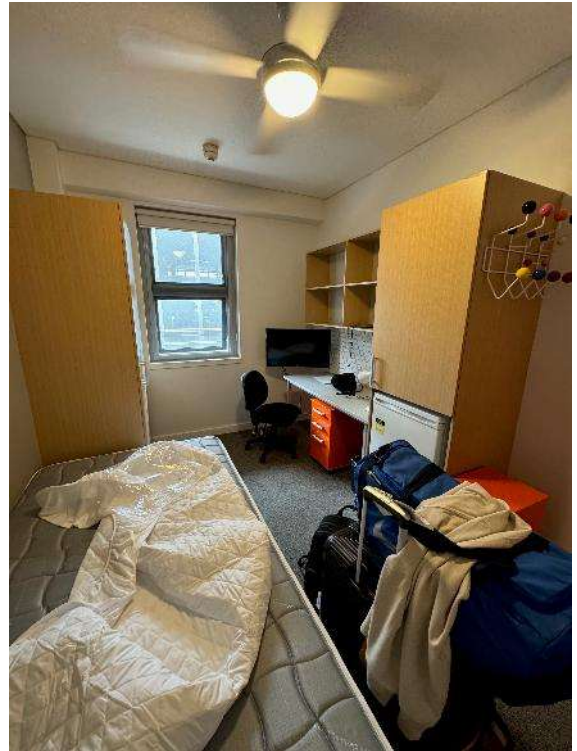
やってみれば何でもできることが分かりました。単純なことで、正直留学前に分かっていたいなかったのも恥ずかしいですが、ここが一番変わった点だと思います。これは、留学中には分からないことばかりでしたが、初めは誰も知り合いがいなくて、全て自分で解決しなければならず、日本にいた時と比べ物にならないくらい様々なことを取り敢えずやってみるということが多かったからだと思います。また、留学中に周りにいた人には留学に来るくらいですから行動力のある人が多く、影響を受けたと思います。

- ③現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

留学を決める段階では、本当に生活できるのか、語学試験で点数が取れるのか、どのくらい単位互換できるのか、進級できるのかなど、不確実なことがたくさんありますが、決めてから頑張ればなんとかなることがほとんどだと分かりました。不確実なことがあるのは仕方ないので、もし行きたいという気持ちがあるのなら、思い切って決めることも時には大切だと思います。

◆自由記述欄◆

人物を載せるには確認が必要とのことで、風景の写真ばかりになってしまいました。





以上